

あきる台たいむす

Akirudai Times



さつき薬局

秋川店

0425-58-8416

(あきる台病院すぐ前)

介護用品・一般薬品・保険調剤

月・火・水・木・金 9:00~18:30

土 9:00~13:00

※日曜・祭日はお休みです

発行所



医療法人財団 暁

あきる台病院

〒197-0804

東京都あきる野市秋川6-5-1

TEL (042) 559-5761

FAX (042) 559-8054

2011年(平成23年) 6月 1日

第16号

発行人: あきる台病院(医療福祉相談室)



第16回 医療法人財団暁研究発表会

医療法人財団 暁 院内学会(研究発表会) 開催される!

〜医療・福祉サービスのさらなる向上の足掛かりに〜 院長 伊藤 正秀

皆様こんにちは。いつも「あきる台たいむす」をご愛読頂きありがとうございます。まず「このたびの東北地方太平洋沖地震により被災されました皆様、職員一同よりお見舞い申し上げます。皆様のご無事と一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。」

当院も三月十一日以降、停電・ガス欠・原発などの影響でドタバタと院内調整に奮闘しまして、私も心労で一時的に軽い心期外収縮が出たりしましたが、最近ようやく自分

のペースを取り戻し、今ではすっかり回復しております。やはり心臓様の永年勤続疲労があったのかもしれない。その間のあきる台病院の運営は、医局の皆さんや看護部の皆さんなどの協力のおかげで大きな影響を受けずに済みました。感謝いたします。

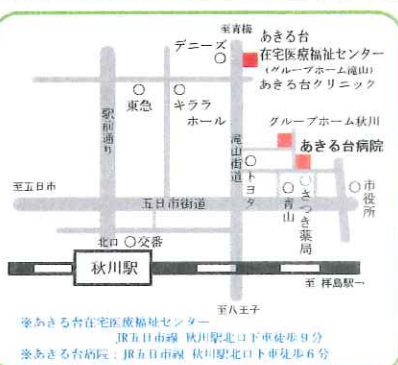
本題に入りまして、五月十三日金曜日に「第一回医療法人財団暁の研究発表会」がございました。当夜は140人の職員の方の参加を得て10演題100人の方たちの演者による計2時間半の発表がありました。当財団では初の研究発表会でした。

【下段中央右: 伊藤院長】

- ① 健診センターにおける便潜血反応検査陽性者(I F O B T)のその後。
- ② 陽性発見大腸腫瘍の自然発生史。
- ③ I F O B T陽性発見大腸癌症例のw u p l oの内視鏡検査のタイムイングの3演題では

- ④ 高血圧に対する新しい治療薬。最近の降圧治療薬は antiaging (若返りの知見から降圧治療に対する考え方を変えていかなければとの意見が出ました。
- ⑤ 入院時初回カンファレンスシートの活用について。ここでは入院時の患者さんのご家族のかかわりも含めた治療方針につき、それを効率的に効果的にするにはチーム医療の有効活用の工夫が必要との立場での発表がされました。
- ⑥ N S Tとは〜当院の取り組み。
- ⑦ N S T導入後の褥瘡改善例。

- ⑧ 認知症の人が暮らしやすき生活がすべてをあらわしています。これは深い人間愛をベースにした長い時間をかけたダイナミックな研究発表でした。
- ⑨ 通所リハビリテーションについて。当財団の通所リハビリについてどのような考えに基づきどんなことをしているかの報告があり、理解を深めることができました。
- ⑩ 在宅でのターミナルケア。医療・福祉・地域の連携により、身寄りのない利用者を在宅で看取ることにできた事例。隣人の方のご協力を得て非常に希少で有意義なケースが報告されました。それに携わったすべてのスタッフの真摯な努力が伝わってきました。以上演題で研究発表会が充実したものでなりました。座長として当夜発表された演者や企画運営の方たち、参加された職員の方たちなど皆さんに感謝申し上げます。次第です。ありがとうございます。



「茶の湯の心」

日本の美しい文化である茶の湯の心を、患者さんや職員に体験していただきたい、という思いから始まった野点(のだて)茶会も10回目になりました。

例年ですとスタッフ全員が和服でおもてなしをするのですが、今回は、震災により被災した多くの人の心を思うと、着飾る急遽、スタッフは赤いエプロンの着用になりました。茶の湯の所作の都合上、亭主と正客は和服姿です。会場は樹木のみどりや、色とりどりの可愛らしい花々、赤い傘にも毛氈。日ごろ見慣れたホールも大変身です。患者さんの中には、茶の湯や和服に感心を寄せる方が多く、赤い傘に見とれたり、直接、茶碗をもって高台を「拝見」したり、

和服に触れたりしていました。花の季節の2日間、心配された計画停電もなく、参加された多くの皆様の明るい笑顔と、ちょっぴり緊張した面持ちに接することができた、和やかな野点茶会となりました。

折しも、現在放映中のNHK大河ドラマ「江」では茶道の部分が多く登場します。今では茶道という用語、行儀作法を学ぶことが主流になっていますが、茶道が一番光を放った戦国時代の意味合いは全く違ってました。皆様よくご存じのように、茶道は千利休が広めましたが、利休は徹底的に無駄を削った究極の侘び、さびの世界を確立しました。茶室は小間と呼ばれる部屋。狭い茶室は、ここだけの話がで



第33回「歌を楽しむ会」のお知らせ (入院患者様、ご家族様)

あきる台病院では、入院患者様とご家族、職員とが歌と一緒に楽しむレクリエーション会を毎月第3水曜日に行っております。毎回多数の患者様、ご家族様のご参加を頂き、楽しい会を催すことができております。

平成23年6月15日(水) 3:00~4:00
1病棟デイルーム(合唱、リズム体操など)



医事課 小澤 綾子

さる密室の場であり、普段は口を固く、武將もつい本音を漏らしたり、素顔を見せたりしたとのこと。唯一、心を許せる場所だったのかもしれない。あきる台病院の野点茶会は、外出することの少ない患者さんのために、野外での茶会をイメージしております。皆様もどうぞお気軽にお立ち寄りください。

お医者さんへの 相談のしかた

「お医者さんに話を聞きましょう！」

「主治医に話が聞けない、聞きづらい」「病気について聞きたいことがあったのに、何も言えなくなってしまう」なんて方が多くいらっしゃると思います。聞きたいことを聞けず、あれこれや悩んでも解決になりません。大事な体のことですから、遠慮せず相談しましょう。

その際に注意しておきたいことは、「要領よく聞く」 実際は医師の前にすると緊張し、うまく伝えられない場合がほとんどです。なので、「紙に質問や不安点をまとめておく」といってはどうでしょうか。それをしながら話してもいいですし、その紙を医師に渡しても大丈夫です。

当然、その後、医師から質問に対する説明がありますが、分からない、聞き慣れない言葉(専門用語)があるかも知れません。その時も、その場で質問してみてください。不安に思うことや疑問を聞いて、理解することが今後のためにも大切です！

そんな当たり前の事を書いていく私自身も、遠慮して聞けないことが多々あります。後で、調べたりやったりして、そう考えるとわかりつけのお医者さんって大事ですよ。互いの信頼関係があつてこそその医療と信じています。



医療福祉相談室

介護保険の相談は

□ お問い合わせ □
TEL: 042-550-6101



あきる台病院 ケア・サービス

訪問看護・訪問介護・居宅療養管理指導
居宅介護支援・通所リハビリ・訪問リハビリ

確かな技術

快適性
安心



あきる台病院 健診センター

皆様の健康を、心・身・社会の観点から多角的に
チェック・確認し、適切なサービスで支援します

□ お問い合わせ・ご予約はこちらまで □
TEL: 042-559-5449/2943 (直通)